

修復的正義の対話 Restorative Justice Dialogue

学校に対話を！修復的対話体験会

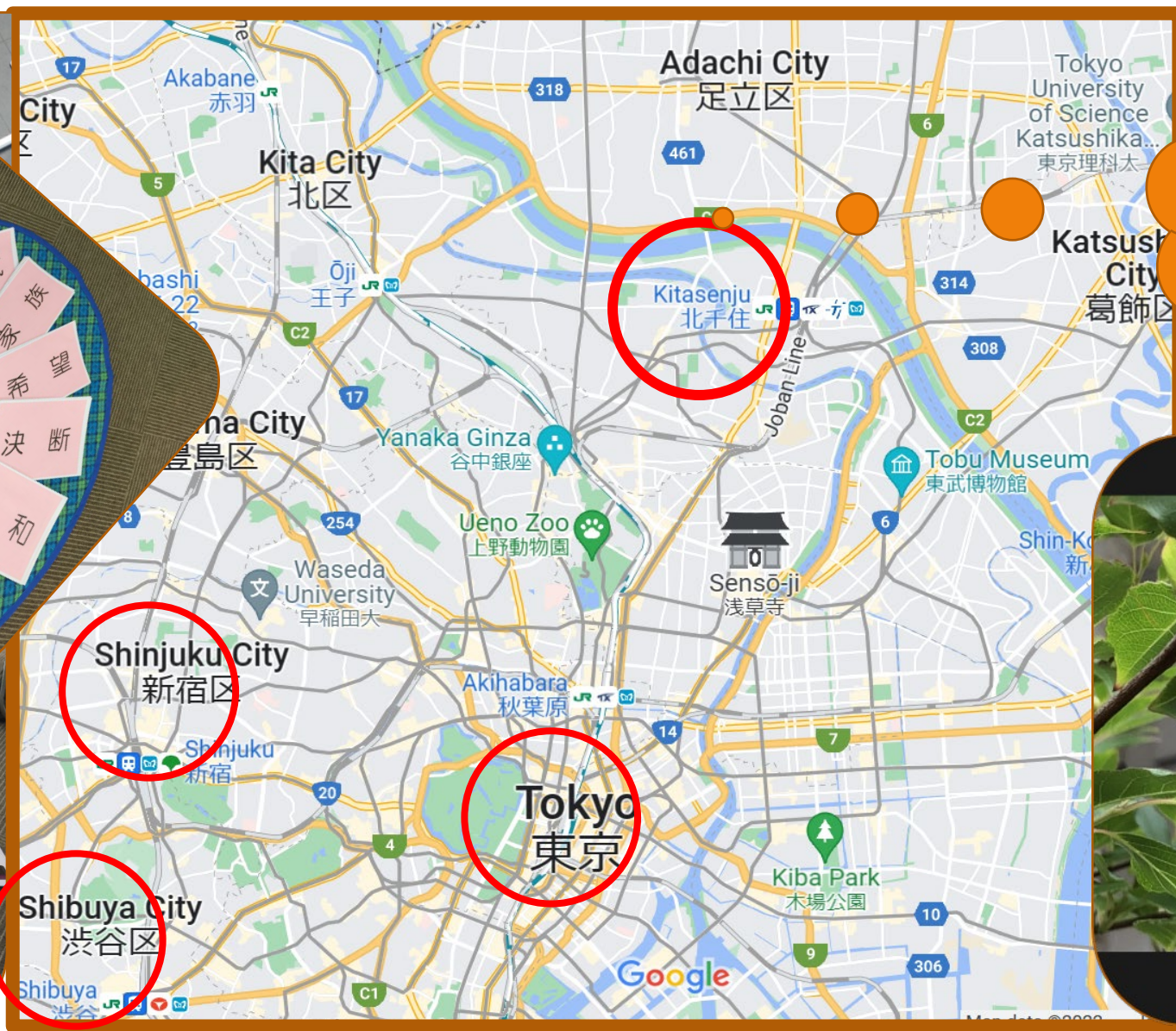
Let's use Restorative Circles  
in School

国際会議 International Conference 2023/01/07

日本, ノルウェー, イギリス Japan, Norway, England

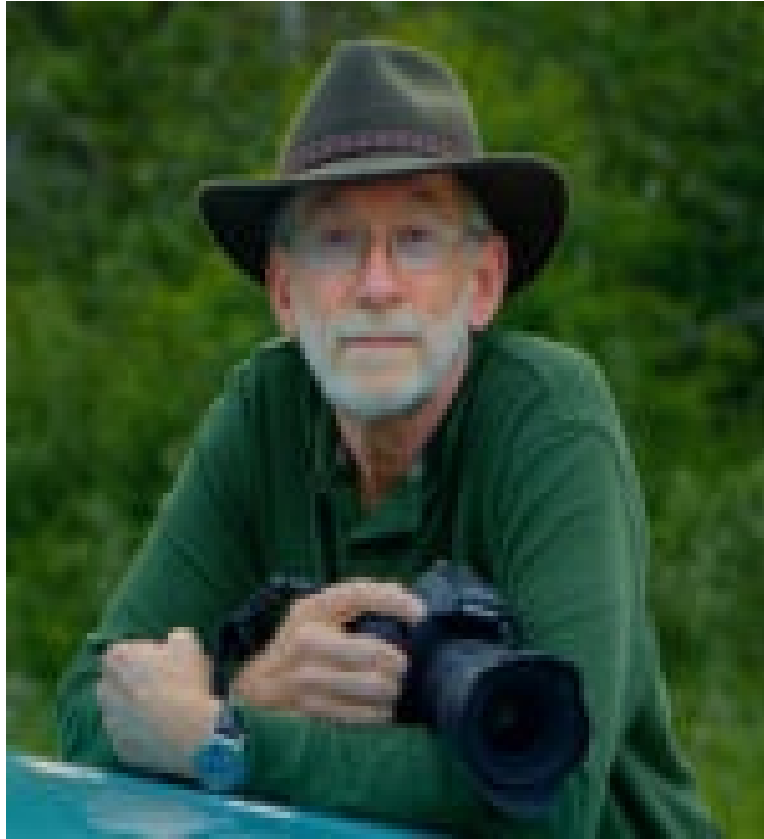
# 修復的対話サークルって、どんな対話？ 東京都足立区から

足立区は  
ココ



# 修復的正義の祖父 ハワード・ゼア

# “Changing Lenses”



ノルウェー

犯罪社会学者  
ニルス・  
クリスティ



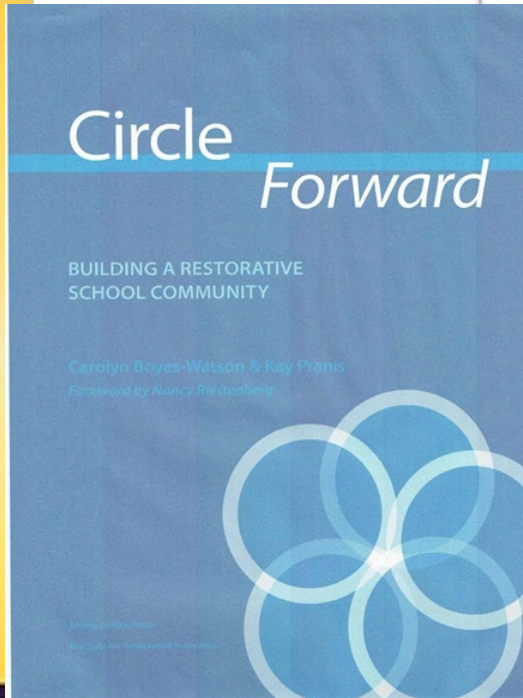
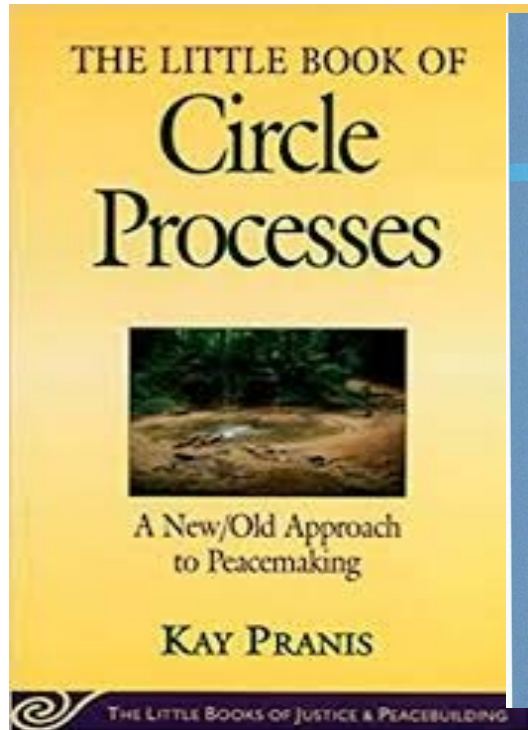
平和構築研究者  
ヨハン・ガルテュング



葛藤は、人類の共通財産である。

ケイ・プラニス  
アメリカ・ミネソタ  
少年司法実践家

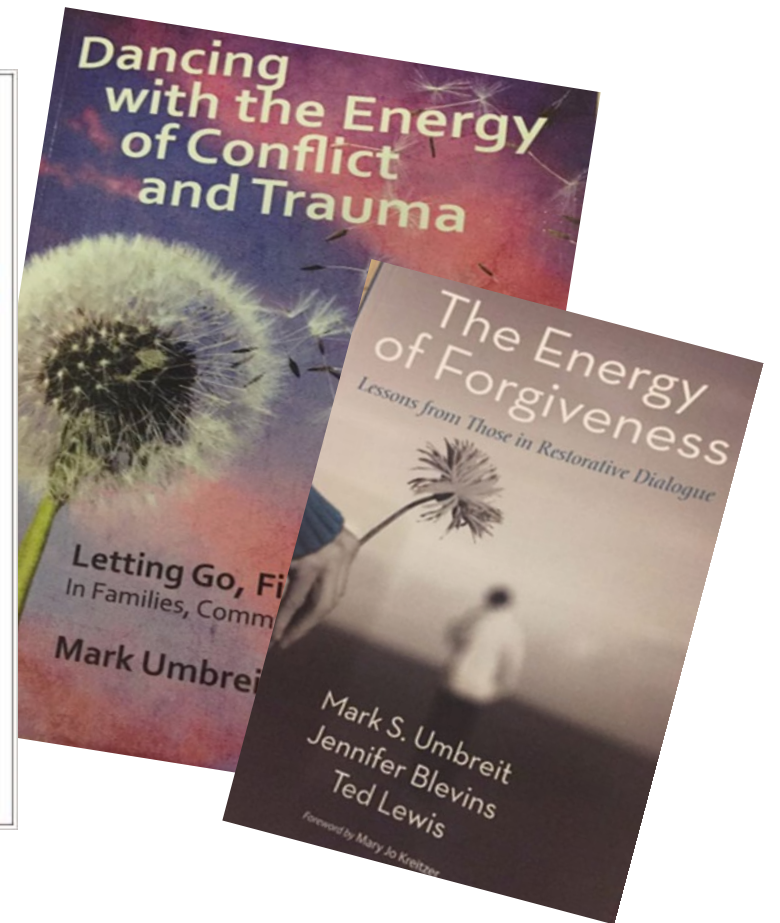
# 修復的対話サークル



# マーク・アンブライト

## ソーシャルワーカー

### アメリカ ミネソタ大学



国連ハンドブック 第2版

# Handbook on Restorative Justice Programs 2020 second edition

## 修復的司法の対話 Restorative Justice

- (a) 犯罪被害加害の対話(メディエーション) victim-offender mediation
- (b) 修復的対話(カンファランス) 家族カンファランス、地域カンファランス  
restorative conference (family group, community conference)
- (c) 修復的対話サークル circles

## トーキングサークル カナダの先住民が用いていた対話が原型

葛藤解決のサークル, 未然防止のサークル, 癒しのサークル, 量刑するサークル

※修復的対話プログラムと子どもおよび若者

※学校における修復的対話プログラム

# 日本版の修復的対話トーキングサークル

どんなふうに開始し、問い、終結するのでしょうか。



- マインドフルネス, 8回 深い呼吸と瞑想の時間.
- チェックイン: あなたのことを紹介してください (オンライン各自のトーキングピースも紹介).
- 最初の問い(1ラウンド): あなたが、他の人を大切にするとき、どのようなことを大切にしていますか? センターにおいてある言葉カードから、そのことを説明するのにふさわしい言葉を一つ選んで、なぜ、その言葉を選んだのか教えて下さい。
- 第2の問い(2ラウンド): 他の人の話を聴いて、思ったこと、感じたことを教えて下さい。1ラウンドでの話に追加したいことがあったら、そのことを話してくださってもかまいません。
- 第3の問い(3ラウンド): この対話のあとで、あなたは、どのようなことを大切にしたい/守りたい/試してみたい、と思いましたか?
- クロージング: 対話に参加してくださって、ありがとうございました。この対話に参加した体験を教えてください。

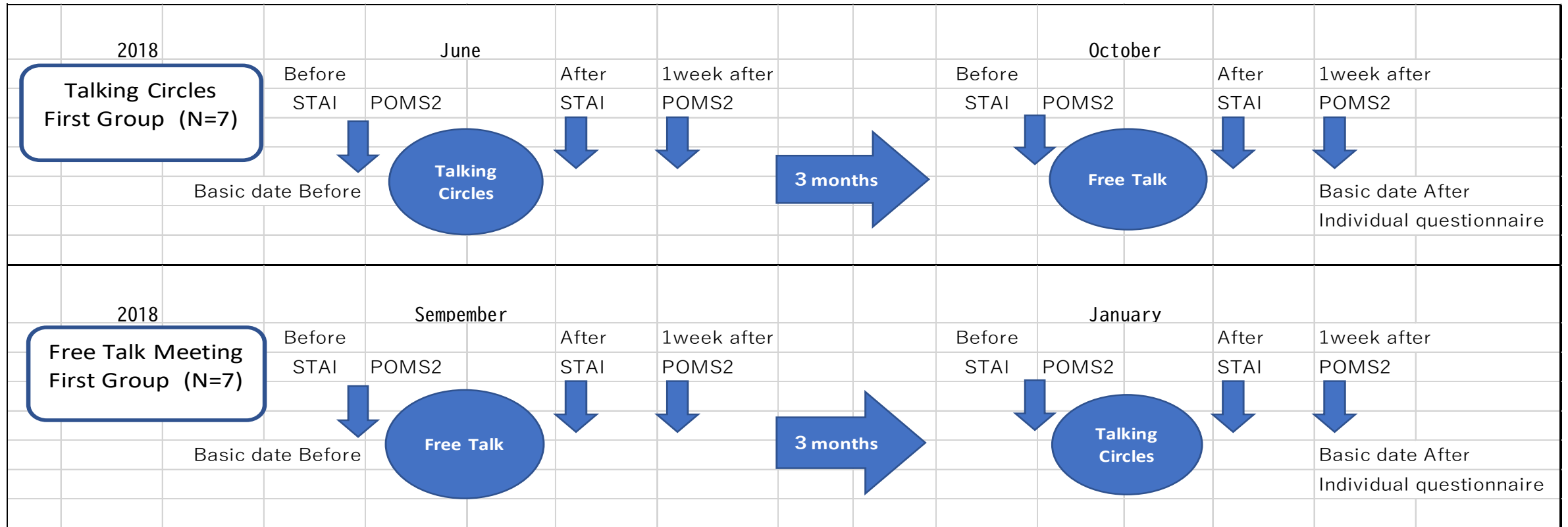
★ 私たちは、ケイ・プラニス、マーク・アンブライトに学びました。

★ 上記のモデルは、キャロリン・ボイズ-ワトソンとケイ・プラニスによる「修復的対話サークル リソースガイド」をお手本にしています。

# 参加者のなかで、何が起きているのか？

混合研究法 研究1 (2018) : クロスオーバースタディ

日本版トーキングサークルとフリートーク1回参加後の比較 (N= 各 7 )



たった1回の参加で、トーキングサークルに参加すると不安が低下した



# 日本版修復的対話サークルに隔週継続3回参加した場合の効果

気分プロフィール POMS2 N=28

健康な大学生 28名

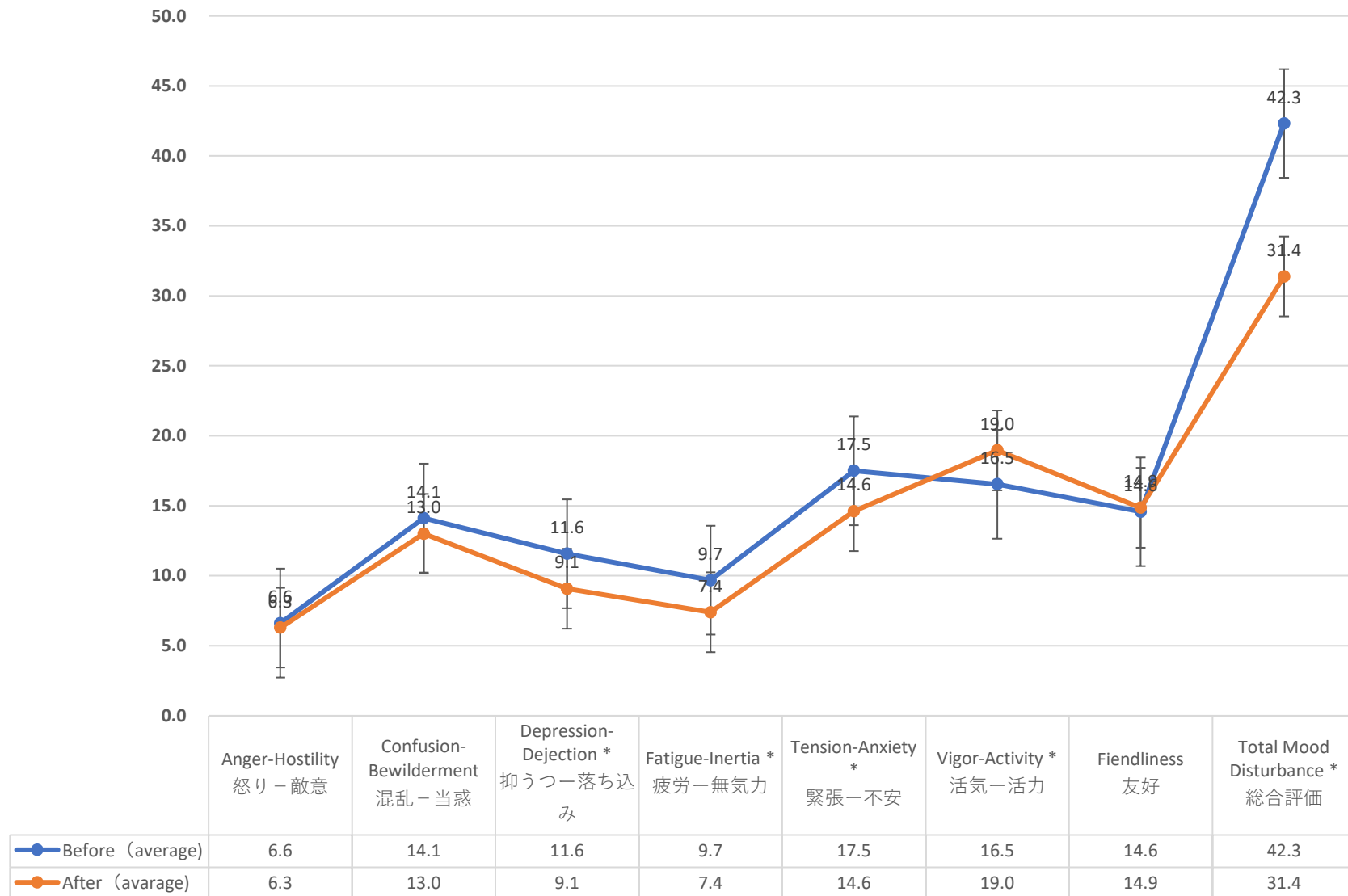
統計的有意な低下

抑うつ-落ち込み,  
疲労-無気力,  
緊張-不安,

統計的有意な上昇

活気-活力

修復的対話サークルに  
隔週3回 (50分)  
参加した場合の効果



# 参加学生の内部で何が起きていたのか？

楽しかった、温かく、リラックスできた体験だった。

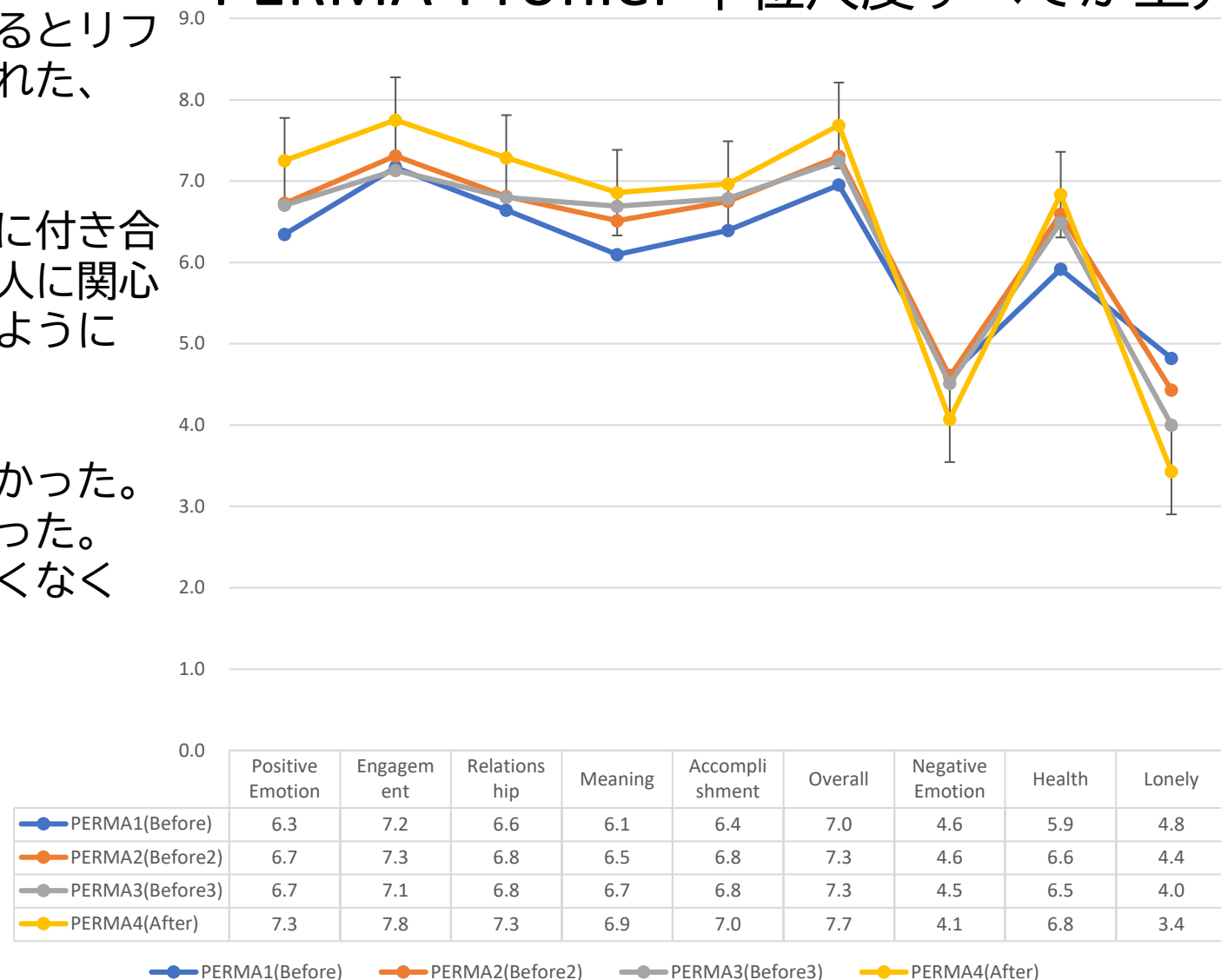
授業の後で、とても疲れていたのに、参加するとリフレッシュでき、気分がすっきりして元気になれた、とても不思議な体験だった。

参加する前、私はふつう他の人とは必要以上に付き合いたくなかったが、参加しているうちに他に人に関心が出て、他の人と付き合ってみたいと思うようになった。実際に付き合いようにもなった。

私は、参加する前、他の人と付き合うのが怖かった。が、参加して、人の話を聴くということがわかった。他の人の声を聴くことが苦ではなくなり、怖くなくなった。

ある教員からの情報、指導していた学生が急に患者さんの話を上手に聴けるようになった。過去3年間も指導して難しかったのに、たった1か月半で上手になった。

## ウェルビーイングを構成する PERMA-Profiler 下位尺度すべてが上昇



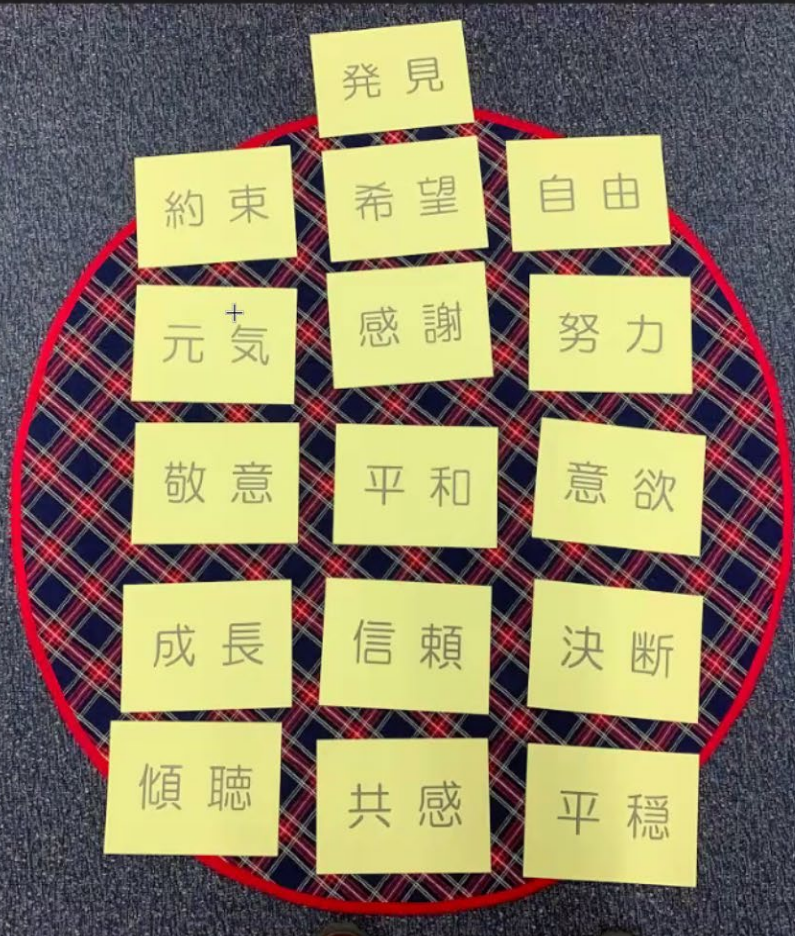


drive.google.com

受信トレイ (1) - ohshima@taiwanokai.jp - taiwanokai.jp メール

ガイドライン：尊重すること - オンライン対話ツール - Google ドライブ

ドライブを検索



あなたは、  
他の人を尊重するとき、  
どのようなことを大切にしてい  
ますか？

## 参考文献

- ・梅崎薫「日本版修復的対話トーキングサークルと雑談会における参加者の不安低下に関する比較研究」保健医療福祉科学 2020 年 10 巻 p. 16-25
- ・梅崎薫, 横山恵子, 川添学, 佐藤晋爾「日本版修復的対話トーキングサークルの継続的参加体験が青年期の大学生に与える心理的影響」保健医療福祉科学 2022 年 12 巻 p. 1-14
- ・Kaoru Umezaki, Mindfulness-based Restorative Justice Circles at Senior Day Care Centers in Japan, World Society of Victimology – International Symposium on Victimology,(2018, Hong Kong
- ・梅崎 薫.「日本における高齢者デイ修復的正義の対話プログラムの試み – 高齢者虐待を予防する地域づくりにむけて –」社会福祉学Vol.58-3 (No.123),日本社会福祉学会 (2017) 54-67
- ・梅崎薫「修復的対話トーキングサークル実施マニュアル」東京:はる書房2019
- ・Boyes-Watson, Carolyn & Pranis, Kay, Circle Forward –Building a Restorative School Community, Living Justice Press, 2015 (=ボーイズ-・ワトソン&プラニス著、梅崎薫和訳監修「修復的対話サークルリソースガイド」修復的対話の会2022)
- ・Ball, Jennifer , Caldwell, Wayne and Pranis, Kay (2010) Doing Democracy with Circles, Living Justice Press
- ・Kay Pranis, The Little Book of Circle Processes-A New/Old Approach to Peacemaking-,Good Books,2005
- ・Mark S.Umbreit, The Handbook of Victim Offender Mediation: An Essential Guide to Practice and Research, Jossey-bass Inc 2001(=マーク・S・アンブライト著、藤岡淳子監訳「被害者-加害者調停ハンドブック-修復的司法実践のために-」誠信書房2007)

この事業は、

東京都足立区公益活動げんき応援事業から助成を受けて行っています。

連絡先

e-mail [umezaki@taiwanokai.jp](mailto:umezaki@taiwanokai.jp)

NGO Restorative Justice Dialogue Japan

Homepage <https://rjtaiwanokai.wixsite.com/info/home>

Facebook <https://www.facebook.com/rjtaiwanokai/>

(Japanese only, sorry)